

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 4 月 22 日(2025.4.22)

【公開番号】特開 2025-36637(P2025-36637A)
【公開日】令和 7 年 3 月 14 日(2025.3.14)
【年通号数】公開公報(特許)2025-047
【出願番号】特願 2024-230222(P2024-230222)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】
【提出日】令和 7 年 4 月 14 日(2025.4.14)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

遊技状態として、所定遊技状態と、前記所定遊技状態より遊技者にとって有利な特定遊技状態とを含む複数の遊技状態を有しており、
所定の状況で第 1 所定条件が成立した場合に、前記特定遊技状態への移行が後に実行され得ることとなる特定状態となるようにする第 1 手段と、
前記特定状態とされた後に第 2 所定条件が成立した場合に、前記特定状態とされた前記特定遊技状態への移行が実行されるようにする第 2 手段と、
所定の前記特定状態となった後、当該所定の前記特定状態に対応する所定の前記特定遊技状態への移行が実行されるより前に第 3 所定条件が成立した場合に、その後に当該所定の前記特定状態に対応する当該所定の前記特定遊技状態への移行が実行されることがないようにする第 3 手段と、
を備え、
前記第 3 所定条件は遊技が実行されている状況で成立可能なものであり、
特定事象の発生に基づいて所定の遊技価値が付与されることを可能とする手段を備え、
前記特定事象が発生して所定の遊技価値が付与された場合に前記第 3 所定条件が成立し得るように構成されていることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 4
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 4】

40

ここで、上記例示したような遊技機等においては遊技の好適化を図る上で未だ改善の余地がある。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 5
【補正方法】変更
【補正の内容】

50

【 0 0 0 5 】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、遊技の好適化を図ることが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 6 】

本発明は、
遊技状態として、所定遊技状態と、前記所定遊技状態より遊技者にとって有利な特定遊技状態とを含む複数の遊技状態を有しており、
所定の状況で第1所定条件が成立した場合に、前記特定遊技状態への移行が後に実行され得ることとなる特定状態となるようにする第1手段と、
前記特定状態とされた後に第2所定条件が成立した場合に、前記特定状態とされた前記特定遊技状態への移行が実行されるようにする第2手段と、
所定の前記特定状態となった後、当該所定の前記特定状態に対応する所定の前記特定遊技状態への移行が実行されるより前に第3所定条件が成立した場合に、その後に当該所定の前記特定状態に対応する当該所定の前記特定遊技状態への移行が実行されることがないようにする第3手段と、
を備え、
前記第3所定条件は遊技が実行されている状況で成立可能なものであり、
特定事象の発生に基づいて所定の遊技価値が付与されることを可能とする手段を備え、
前記特定事象が発生して所定の遊技価値が付与された場合に前記第3所定条件が成立し得るように構成されていることを特徴とする。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 7 】

本発明によれば、遊技の好適化を図ることが可能となる。

10

20

30

40

50